

【取組内容①】 GoogleMeetを活用したオンライン交流学习

＜実践内容＞

- ・ GoogleMeetを活用し、担任同士が事前に打ち合わせを行う。
- ・ どちらか一方の担任が主となり授業を進める。
- ・ ワークシートは紙を活用する。学年に応じてJamboardを活用する。



＜児童の端末画面＞



＜教室提示画面＞



＜イヤホンの活用＞

＜実践を通して＞

- 回数を重ねることでオンライン学習に児童のみならず、教員も慣れが見られるようになった。高速回線のおかげで画像や音声の遅延がなく違和感のない学習が展開できた。
- すべての学級で実践を行うことで、道徳科における多様な意見に触れる機会が増加した。児童も相手校の意見を真剣に聞くとともに、発言回数が増えた。
- 端末内臓のマイク・スピーカーを活用するとハウリングを起こすため、マイク内蔵イヤホンを児童に使用させた。これによりハウリングを起こすことはなくなった。
- Google classroomをポータルとして、MeetやJamboardなどのアプリと連動させることで発達段階に応じた情報活用能力の育成を図ることができた。
- マイク内蔵イヤホンを活用する場合、児童がマイクのON/OFFを切り替える必要があり、低学年は操作を忘れることもあった。